

令和8年度全国学力・学習状況調査結果の分析と改善に向けて

1 調査の概要

- (1) 実施期日
令和8年4月20日（月）～5月29日（金）実施
- (2) 調査対象学年
小学校第6学年（日田市：457人） 中学校第3学年（日田市：463人）
- (3) 調査内容
◇教科 小学校第6学年 国語、算数
中学校第3学年 国語、数学、英語
◇質問調査（児童・生徒）
- (4) 調査内容の説明
◇「知識」に関する内容と「活用」に関する内容を一体的に問う調査問題
◇質問調査（児童・生徒）
・児童生徒を対象に学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査
- (5) 用語の説明
◇正答率：全設問に対して児童生徒が正答した割合（集団の場合は平均値）。
◇全国比：全国の平均正答率を100とみたときの日田市の割合。
◇IRTスコア：各設問の難易度などから統計理論に基づいて算出したスコア。

2 結果の概要

【小学校6年生】

《平均正答率（％）》※色付き部分は全国値以上

	小学校6年生	
	国語	算数
日田市	59	54
大分県	63	58
全国	61	56
全国比	97	96

【中学校3年生】

《平均正答率（％）》※色付き部分は全国値以上

	中学校3年生		
	国語	数学	英語
日田市	59	48	440
大分県	64	55	484
全国	64	57	499
全国比	92	84	88

※英語はIRTスコア

3 教科に関する調査結果の分析及び改善の方策

小学校6年生 国語

①結果の概要

国語	教科全体	学習指導要領の領域						評価の観点			問題形式		
		言葉の特徴や使い方に 関する事項	情報の扱い 方に関する 事項	我が国の言 語文化に関 する事項	話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと	知識・技能	思考・判断・ 表現	主体的に学 習に取り組 む態度	選択式	短答式	記述式
日田市	59	63.9	52.4	—	63.8	40.6	65.9	60.1	57.8	—	59.5	59.6	55.1
大分県	63	69.9	53.6	—	66.9	45.4	68.5	64.5	61.2	—	62.6	67.0	58.9
全国	60.9	66.8	52.3	—	65.8	45.7	65.9	62.0	60.1	—	61.9	62.6	54.9
全国比	96.9												

②教科領域結果 ○：できている点 ●：課題がある点

〔知識及び技能〕

言葉の特徴や使い方に関する事項

- 当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書いたり、文や文章の中で使ったりするとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと〔2三〕イ
- 話や文章の種類とその特徴について理解すること〔3一〕
- 比喻や反復などの表現の工夫に気付くこと〔1二(3)〕

〔思考力、判断力、表現力等〕

書くこと

- 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること〔2一〕
- 引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること〔2四〕

読むこと

- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること〔3三(2)〕
- 目的に応じて、必要な情報を見付けること〔3三(1)〕

学びに向かう力に関連すること

- 無解答率（解答しなかった児童の割合）は、ほぼ全ての問題において全国よりも低い。

③具体的な授業改善の方策・ポイント

○筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考える指導の充実

- ・筋道の通った文章にするためには、つながりや配列を意識して文章全体の筋道を整えていくことが重要である。「読み手にどのように読み進めてほしいか」という目的を明確にした上で、目的に合ったつながりや配列を選ぶことができるようにすることも重要である。

○目的に応じて、必要な情報を見付ける指導の充実

- ・目的に応じて必要な情報を見付けるためには、書き手の述べたいことを知るために読む、読み手の知りたいことを調べるために読むなどの目的に応じて、文章の中から必要な情報を取捨選択したり、整理したり、再構成したりすることが重要である。

小学校 6 年生 算数

①結果の概要

算数	教科全体	学習指導要領の領域					評価の観点			問題形式		
		数と計算	図形	測定	変化と関係	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式
日田市	54	58.2	49.6	74.2	34.7	46.1	56.4	45.4	—	53.9	55.2	48.9
大分県	58	62.3	56.5	77.9	39.1	50.6	61.1	48.3	—	57.2	60.5	52.0
全国	56.4	61.1	55.3	78.1	41.1	48.6	60.1	45.4	—	56.0	59.7	48.5
全国比	95.7											

②教科領域結果 ○：できている点 ●：課題がある点

数と計算

- 異分母の分数の大小を判断し、その理由を記述すること〔 3 (3)〕
- 示された情報を基に、数量の關係に着目して、条件に合う時間を求めること〔 4 (2)〕
- 整数と小数の減法の計算をすること〔 3 (2)〕

図形

- 直方体の箱の形を構成する面について理解すること〔 1 (2)〕
- 体積の意味について理解すること〔 1 (3)〕
- 日常生活の問題を解決するために、図形を構成する要素に着目して直方体の三つの辺の長さを捉え、示された条件を基に、調べたい数量の求め方を記述すること〔 1 (4)〕

変化と関係

- 基準量、比較量、割合の關係が正しく表されている図を選ぶこと〔 2 (4)〕

データの活用

- 帯グラフの特徴と使い方を理解し、およその割合を読み取ること〔 4 (4)〕
- 示された二つの表から、集計に誤りのある項目を見付け、その根拠を表の中の数と言葉を用いて記述すること〔 4 (1)〕
- 二次元の表から、条件に合う数を読み取ること〔 4 (3)〕

学びに向かう力に關連すること

- 無解答率（解答しなかった児童の割合）は、16 項目中 13 項目で全国よりも低い。

③具体的な授業改善の方策・ポイント

- 図形の観察や構成・分解の活動を通して、立体図形を構成する要素について考察できるようにする指導の充実
 - ・図形の構成・分解をする際、具体物の観察を通して、図形を構成する要素（頂点、辺、面など）について考察できるようにすることが重要である。
- 立体の体積について、単位や測定の意味を理解し、体積の計算による求め方について理解できるようにする指導の充実
 - ・体積も面積などと同じように単位の大きさを決めるとその幾つ分として数値化して捉えることができることを理解できるようにすることが大切である。そのうえで、単位体積の立方体をきちんと敷き詰めた 1 段分の個数と、その段の個数をかけあわせることで、直方体や立方体の体積を求めることができることを理解できるようにすることが大切である。
- 日常生活の様々な問題場面において事象を数理的に捉え、数量の關係に着目し、基準量、比較量、割合の關係や、異種の二つの量の割合として捉えられる数量の關係について考察できるようにする指導の充実
 - ・「割合」及び「単位量あたりの大きさ」の学習では、一つの数量だけでは比べることのできない場面において、関わりのある二つの数量を見だし、二つの数量の關係どうしで比べられることを理解できるようにすることが大切である。

中学校3年生 国語

①結果の概要

国語	教科全体	学習指導要領の領域						評価の観点			問題形式		
		言葉の特徴や使い方に 関する事項	情報の扱い 方に関する 事項	我が国の言 語文化に関 する事項	話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと	知識・技能	思考・判断・ 表現	主体的に 学習に取り 組む態度	選択式	短答式	記述式
日田市	59	56.6	64.4	－	59.6	62.5	55.6	57.9	59.2	－	66.7	52.5	40.9
大分県	64	62.3	68.3	－	64.1	67.0	60.0	63.3	63.7	－	71.4	56.8	46.8
全国	63.9	63.0	70.4	－	63.9	67.4	59.7	64.2	63.7	－	72.7	55.8	45.5
全国比	92.3												

②教科領域結果 ○：できている点 ●：課題がある点

言葉の特徴や使い方に関する事項

- 文脈に即して正しく漢字を書き、語句を文章の中で使うこと〔3一〕
- 自立語と付属語を類別することはできているが、助詞と助動詞を類別すること〔1二〕
- 語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉えること〔4二〕

話すこと・聞くこと

- 必要に応じて質問しながら話の内容を捉えること〔2二〕

書くこと

- 表現の工夫とその効果について、読み手からの助言を踏まえ、よい点や改善点を見いだすこと〔3四〕

読むこと

- 文章の中心的部分と付加的な部分について叙述を基に捉えること〔4一〕
- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすること〔4四〕

学びに向かう力に関連すること

- 無解答率（解答しなかった生徒の割合）は15項目中13項目で全国よりも高い。

③具体的な授業改善の方策・ポイント

○語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉える指導の充実

- ・語句の文脈上の意味を捉えることの指導に当たっては、まず、語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈における意味を具体的かつ個別的に捉えることが大切である。その上で、語句に着目し、その語句が文や段落においてどのような役割を果たしているかを捉え、さらに、それらの語句と文章中の他の語句との関係を考えることが重要である。

○書いた文章について、読み手からの助言を踏まえ、よい点や改善点を見いだす指導の充実

- ・「書くこと」の学習における「共有」では、読み手からの助言などを踏まえて、自分が書いた文章のよい点や改善点を書き手自身が見いだすことが求められる。「推敲」とは異なり、書き終えた文章について、読み手からの感想や助言を基に、自分の文章を振り返り、次の書く活動にどのように生かすかを考えることが重要である。また、「共有」する際の視点については、「構成の検討」、「考えの形成、記述」、「推敲」の学習過程を踏まえ、当該学年で重点としている内容を中心に引き上げるのが大切である。

中学校3年生 数学

①結果の概要

数学	教科全体	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式		
		数と式	図形	関数	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式
日田市	48	60.3	34.6	47.3	45.0	53.6	29.7	—	52.1	54.1	29.7
大分県	55	65.4	43.5	55.2	52.8	61.0	36.5	—	57.9	62.0	36.5
全国	57.0	67.8	48.7	54.8	53.5	63.0	39.1	—	59.3	64.2	39.1
全国比	84.2										

②教科領域結果 ○：できている点 ●：課題がある点

数と式

- 同類項の意味が理解〔2〕
- 問題場面における考察の対象を明確に捉えること〔6(1)〕
- 統合的・発展的に考え、事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明すること〔6(3)〕

図形

- 2直線が平行になるための条件の理解〔3〕
- 具体的な事象において、考察の対象となる角を的確に捉えること〔8(1)〕
- 筋道を立てて考え、証明すること〔8(2)〕
- 証明する事柄の仮定となる辺や角の関係を見いだすこと〔8(3)〕

関数

- 与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ること〔7(1)〕

データの活用

- 起こり得る場合を樹形図や二次元の表を利用するなどして整理し、確率を求めること〔5〕
- 累積度数の意味の理解〔9(1)〕
- 箱ひげ図と四分位数の対応〔9(2)〕

学びに向かう力に関連すること

- 無解答率（解答しなかった生徒の割合）は、16項目中15項目で全国よりも高い。

③具体的な授業改善の方策・ポイント

○2直線が平行になるための条件についての理解を深める活動の重視

- ・2直線が平行になるための条件についての理解を深めるために、四角形PQRSについて、「 $PS \parallel QR$ を示すためには、どの二つの角が等しいことをいえばよいか」について考察する活動などを取り入れることが考えられる。このような活動を通して、具体的な事象における問題解決に、2直線が平行になるための条件を活用できるようにすることが大切である。

○具体的な事象を基に、証明する事柄の仮定を見いだす活動の充実

- ・図形の性質を証明する場面において、証明する事柄の仮定と結論を明らかにする場面を設定することが大切である。例えば、元の角の2倍の大きさの角が作図できる理由を証明する活動において、作図する過程や作図によってできた図形を基に、仮定と結論を明確にできるようにすることが大切である。

○累積度数の意味の理解を深める場面の重視

- ・データの分布の傾向を捉える活動を通して、累積度数の意味について理解できるように指導することが大切である。例えば、全校生徒の睡眠時間の度数分布表から「この学校で睡眠時間が7時間未満の生徒は何人いるか」について累積度数を用いて考察する場面を設定することが考えられる。

中学校3年生 英語

①結果の概要

英語 3技能	教科全体 IRTスコア	1	5	6	10 (1)	10 (2)	11①	11②	←難易度
		聞くこと	聞くこと	読むこと	読むこと	書くこと	書くこと	書くこと	
		知識・技能	思考・判断・表現	知識・技能	思考・判断・表現	思考・判断・表現	知識・技能	知識・技能	
		選択式	選択式	選択式	選択式	記述式	短答式	短答式	
		4	4	3	4	5	3	3	
日田市	440	50.5	40.2	52.3	32.6	13.6	36.7	37.4	
大分県	484	56.8	47.8	65.7	44.9	23.5	53.7	53.4	
全国	499	60.2	55.6	67.3	47.5	27.8	58.9	52.7	
全国比	88.2								

英語に関しては、生徒が解いた問題が異なるため、全体の IRT スコアは出ても、領域や観点ごとの平均正答率は出ていない。
公開問題のうち、全受検者が解いた7問のみ、平均正答率を記載している。

②教科領域結果 ○：できている点 ●：課題がある点

聞くこと

- 音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を活用して聞くこと〔1〕
- 社会的な話題について、話を聞き、要点を捉えること〔5〕

読むこと

- 音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を活用して読むこと〔6〕
- 社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉えること〔10 (1)〕

書くこと

- 社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くこと〔10 (2)〕
- 音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を活用して書くこと〔11〕

学びに向かう力に関連すること

- 無解答率（解答しなかった生徒の割合）は、共通問題7項目中4項目で全国よりも高い。

③具体的な授業改善の方策・ポイント

○話を聞いて、概要を捉える指導の充実

話題を把握した上で、特定の部分にのみとられることなく、全体としてどのような話のあらましになっているのかを捉えることが重要である。指導に当たっては、話の最初から最後まで通して聞き、聞き取った情報や、情報と情報との関係、展開を表す表現などから場面の移り変わりを整理させることが大切である。その後、話を聞き、どのように場面の移り変わりを整理したのかをペアやグループで伝え合ったり、学級全体で確認したりすることが考えられる。

○文章を読んで、要点を捉える指導の充実

文章全体を通して読み、文章から取り出した複数の情報を比較することで、どの情報が最も重要であるかを判断することが重要である。指導に当たっては、文と文との関係を捉え、段落内の情報と情報との関係、段落と段落の関係などの文章全体の構成を理解することが大切である。また、文章を読んだ後で、書き手が最も伝えたいことは何か、なぜそう考えたのかを話し合う活動なども考えられる。

○社会的な話題に関して読んだことについて、考えと理由を書く指導の充実

文章を読み、書き手が最も伝えたいことを捉え、それについて感じたことや考えたことを、理由とともに書くことが重要である。指導に当たっては、文章を読んで要点を捉え、自分の考えとその理由をキーワードとしてメモなどに整理させた後、自分の考えとその理由を書くことが考えられる。書いた文章に対して生徒同士でコメントさせたり、教師がフィードバックを与えたりすることで文章を推敲することも大切である。

4 児童・生徒質問調査結果について

- (1) **生活習慣・家庭での学習習慣等に関する回答状況** (数値は肯定的回答の割合：%)

※色付き：全国値以上 (赤囲み：5ポイント以上)

※太囲み：全国値より5ポイント以下

【自尊意識・将来に対する意識・学校生活・規範意識等】

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
自分には、よいところがあると思いますか	84.2	85.5	85.6	82.5	83.6	84.0
将来の夢や目標を持っていますか	83.6	81.4	81.8	63.0	67.6	67.6
学校に行くのは楽しいと思いますか	82.9	85.5	85.7	81.3	87.2	85.4

【基本的生活習慣・幸福感】

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
朝食を毎日食べていますか	93.6	92.7	93.3	92.0	91.8	90.9
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	90.4	92.3	92.5	89.5	91.4	91.0

【社会に対する意識・地域との関わり】

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
新聞を読んでいますか ※週に1回以上	5.2	7.1	10.0	5.2	5.1	6.2
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	81.2	81.1	80.1	69.9	74.4	72.3

- (2) **教科の学習に対する関心・意欲・態度に関する回答状況**

【国語に関すること】

質問事項	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
国語の勉強は好きですか	67.9	63.2	57.4	71.2	63.0	57.2
国語の授業の内容はよく分かりますか	89.3	85.9	81.5	82.6	81.2	76.8
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	92.1	91.5	90.4	90.1	90.7	88.2
解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか ※全て最後まで書こうと努力した	96.9	96.7	94.0	94.4	96.0	92.8

【算数・数学に関すること】

質問事項	小学校 6 年生			中学校 3 年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
算数・数学の勉強は好きですか	61.7	61.0	57.6	49.4	55.2	56.1
算数・数学の授業の内容はよく分かりますか	79.5	80.5	77.5	69.3	71.6	74.2
算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	92.0	91.8	91.0	76.4	78.7	76.5
言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く（解答を言葉や数、式を使って説明する）問題がありましたが、どのように解答しましたか ※全てで最後まで書こうと努力した	96.8	97.5	95.4	94.0	95.3	93.7

【英語に関すること】

質問事項	小学校 6 年生			中学校 3 年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
英語の勉強は好きですか	74.8	69.2	66.7	45.8	52.8	51.2
英語の授業の内容はよく分かりますか				50.5	61.6	64.2
英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか				86.0	86.2	87.6
将来、積極的に英語を使うような生活をしたたり職業に就いたりしたいですか	46.6	45.1	45.4	35.7	31.3	34.1

【授業改善・学習指導】 ※「主体的・対話的で深い学び」「伸ばす教育」に関連

質問事項	小学校 6 年生			中学校 3 年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	66.9	61.0	66.4	53.1	57.9	65.5
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、わかるまで教えてくれていると思いますか	90.6	89.0	87.3	84.5	88.6	85.2
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	76.5	79.5	77.9	75.2	81.7	78.6
分からないことやよくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	79.2	81.5	79.4	75.2	79.8	78.2
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	81.6	78.5	77.6	72.2	79.1	78.8
話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか	85.5	87.0	85.7	79.8	88.4	87.0
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	80.7	81.7	78.4	77.4	79.7	79.0
授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか	85.1	82.0	80.8	76.6	80.3	78.0

※質問調査の黄色の色付け項目は、新たな教育観（伸ばす教育）に照らした質問項目

として経年追跡する。

(3) 分析

【小学校6年生】

- ・教科の愛好度が全国に比べて高く、意欲があることがわかる。
- ・記述問題に対して「全てで最後まで書こうと努力した」と回答した児童の割合が全国よりも高く、最後まであきらめず取り組む粘り強さがある。
- ・「将来の夢や目標を持っている」「学習は、将来社会に出たときに役立つ」と回答した児童の割合が全国よりも高く、将来に向けての希望や学習への期待度も高い。

【中学校3年生】

- ・愛好度・理解度について、国語は高評価であるものの、数学は全国値を5ポイント以上下回っている。
- ・英語に関する愛好度・理解度は全国値を5ポイント以上下回っているものの、「将来、積極的に英語を使うような生活をしたり、職業に就いたりしたいか」の質問では、全国値や県値を上回っている。
- ・今年度も引き続き、「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している」と回答した生徒の割合が全国値を5ポイント以上下回っている。

(4) 改善の方策

- ◇質問項目を教職員全員で振り返り、質問内容のような授業が展開されているのか振り返るとともに、意識をして継続することが重要。
- ◇児童生徒のつまづきを予測し、その時に対応できるような手立てを持っておく。
- ◇児童生徒の実態、教材の特性、教師の願いをもとに、単元を通してどんな力を付けたかを明確にした授業の実現（単元構想、単元計画の充実）
- ◇学びに向かう力を育成するためにも、児童生徒とのめあての共有、目的意識をしっかりと持たせて取り組ませる。
- ◇教科に対する愛好度を高めるために、授業の「振り返り」の時間を活用し、「本時の自身の学びや成長を振り返る」時間を充実させる。
- ◇家庭学習も含め、A I ドリルやフォローアップドリル、「みんなの学習クラブ」の活用と確かな見取りによるやり直しや補充学習の徹底

5 クロス集計について

※日田市の数値

(1) クロス集計結果の概要（色付きは最も正答率が高いもの）

①児童生徒の朝食を食べる割合と平均正答率の関係

【朝食を毎日食べている】

選択肢	小学校 6 年生		中学校 3 年生		
	国語 正答率	算数 正答率	国語 正答率	数学 正答率	英語 IRT スコア
している	60.1	54.9	61.1	51.1	449
どちらかといえば、 している	57.9	49.8	46.8	35.8	397
あまりしていない	44.2	43.0	55.9	41.7	405
全くしていない	51.3	47.9	52.3	33.5	401

②個別最適な学びと平均正答率の関係

【5年生までに（1、2年生の時に）受けた授業は、自分に合った教え方、教材、学習時間などになっていたか】

選択肢	小学校 6 年生		中学校 3 年生		
	国語 正答率	算数 正答率	国語 正答率	数学 正答率	英語 IRT スコア
当てはまる	63.1	57.2	64.3	58.8	470
どちらかといえば、 当てはまる	58.9	55.0	58.9	46.5	440
どちらかといえば、 当てはまらない	53.1	44.7	54.1	40.6	410
当てはまらない	42.3	31.3	46.7	35.1	383

質問事項 当てはまる・どちらかといえば、当てはまるの割合	小学校 6 年生			中学校 3 年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
5年生までに（1、2年生の時に）受けた授業は、自分に合った教え方、教材、学習時間などになっていたか	84.0	83.1	80.8	77.2	83.0	78.9

③児童生徒の1日当たりの学習時間と平均正答率の関係(平日)

【普段(平日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をするか】

選択肢	小学校6年生		中学校3年生		
	国語 正答率	算数 正答率	国語 正答率	数学 正答率	理科 IRTスコア
3時間以上	63.2	62.1	48.8	38.3	424
2時間以上、3時間 より少ない	59.9	52.7	66.4	55.5	485
1時間以上、2時間 より少ない	64.6	56.1	62.3	52.7	453
30分以上、1時間 より少ない	57.2	55.3	57.8	47.6	435
30分より少ない	53.7	47.9	54.5	44.8	403
全くしない	46.8	43.8	47.1	29.8	394

質問事項 30分以上、1時間より少ない・30分より少ない・全くしないの割合	小学校6年生			中学校3年生		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
普段(平日)、1日当たりどれくらいの 時間、勉強をするか※数値が低い方が良好	54.7	45.0	49.3	49.7	25.9	37.9

(2) 分析結果

- ・「朝食を毎日食べる」等、基本的生活習慣が確立している児童生徒は、平均正答率が高い傾向が見られる。
- ・「前学年までに受けた授業は、自分に合った教え方、教材、学習時間などになっていた」と回答する児童生徒ほど平均正答率が高いことから、個別最適な学びが行うことは、児童生徒の「わかった」「できた」を越えて「力が付く」に結びついているといえる。
- ・平日1日当たりの学習時間と平均正答率の関係をみると、小学校6年生で、「30分以上、1時間より少ない」、中学校3年生で、「1時間以上、2時間より少ない」の学習量では、平均正答率に満たないことがデータから分かる。

(3) 改善の方策

- ◇授業では、個別最適な学びを実現するため、個に応じた手立ての選択肢を増やしたり、習熟の程度に応じた指導や少人数指導などの策を講じたりして、組織的・計画的に実施する。時間を効果的に使い、補充学習を行う。
- ◇授業や家庭学習の見取りを細かにを行い、やり直しなどを徹底する。
- ◇学校便り、ホームページ等を通して、規則正しい生活と学力の相関関係を示し、基本的生活習慣の確立に向け家庭への協力を求める。
- ◇平日1日当たりの学習時間に関しては、昨年度よりも、学習時間が短くなっているため、児童生徒や保護者への継続した働きかけが必要となる。
- ◇学校運営協議会、学級懇談会で議題に取り上げ、学習時間の確保に向けて、メディア時間を含む生活時間の見直し、学習意欲向上のきっかけづくりなど、具体的な対策を学校だけでなく、家庭・地域と共に考える。

6 学校質問調査結果について

(1) 学校質問調査結果の概要(数値は肯定的回答「よく行った・どちらかと言えば」の割合：%)

※色つけ：全国値より5ポイント以上

※太囲み：全国値より5ポイント以下

【生徒指導等】

質問事項	小学校			中学校		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
調査対象の児童生徒は授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	88.3	87.5	83.9	83.3	87.4	90.7

【家庭学習】

質問事項	小学校			中学校		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか	100.0	99.2	96.6	100.0	98.3	91.2
前年度までに、家庭学習について、児童（生徒）が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行いましたか	100.0 (61.1)	93.3 (86.6)	91.1 (89.7)	91.6 (91.6)	92.4 (94.9)	85.0 (84.0)
前年度までに、学校では、児童（生徒）が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童（生徒）の学習改善に生かしましたか	94.1	95.4	90.5	91.6	95.8	83.2

※（ ）内は、令和6年度の数値

【家庭や地域との連携について】

質問事項	小学校			中学校		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まりましたか	100.0	98.8	89.1	91.6	94.1	84.4

【授業改善・学習指導】※「主体的・対話的で深い学び」「伸ばす教育」に関連

質問事項	小学校			中学校		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国
課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていますか	94.1	96.6	88.1	83.3	90.8	87.2
習得・活用及び探求の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	82.3	92.5	88.1	91.6	87.4	86.1
学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていますか	94.1	92.9	87.8	83.3	94.1	89.4
授業において、児童（生徒）自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか	82.3	90.8	89.5	66.6	82.4	85.4
授業では、自分で学ぶ内容を決め、計画を立てて学ぶ活動を行っていると思いますか	53.0	70.7	64.4	66.7	51.3	56.7

※16ページ～20ページは、「**学校が回答した数値**」の欄には、着色や囲み無し。1校が占める割合が大きく、比較は適切ではないため。

【授業改善・学習指導】 《小6国語》 「よく行った」回答の数値

質問事項（学校質問より）	児童が回答した数値			学校が回答した数値			調査問題	正答率（％）		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国		日田市	大分県	全国
前年度までに、国語の授業で、学習状況に即して児童のよい点や進歩の状況を積極的に伝えることを行いましたか	27.6	28.4	27.5	58.8	50.6	36.1				
前年度までに、国語の授業で、児童に学習の状況について改善すべき点を伝え、改善できるように手立てを講じることを行いましたか	32.9	32.1	30.0	52.9	44.8	31.7				
前年度までに、国語の授業で、文章などを引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書くことができるような指導を行いましたか	38.2	37.3	35.0	52.9	43.5	30.2	2四 引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる	30.0	35.9	33.5
前年度までに、国語の授業で、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるような指導を行いましたか	38.7	35.3	33.7	52.9	50.2	35.6	3三（2） 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる	80.3	82.0	76.4

【授業改善・学習指導】 《中３国語》

「よく行った」回答の数値

質問事項（学校質問より）	生徒が回答した数値			学校が回答した数値			調査問題	正答率（％）		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国		日田市	大分県	全国
前年度までに、国語の授業で、学習状況に即して生徒のよい点や進歩の状況を積極的に伝えることを行いましたか	34.0	31.8	25.5	41.7	53.8	40.2				
前年度までに、国語の授業で、生徒に学習の状況について改善すべき点を伝え、改善できるように手立てを講じることを行いましたか	34.8	34.0	26.5	33.3	44.5	37.3				
国語の授業において、前年度までに、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができるような指導を行いましたか	38.9	40.8	35.9	41.7	43.7	38.4	2四 互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができるかどうかをみる	49.5	53.5	52.7
国語の授業において、前年度までに、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができるような指導を行いましたか	30.3	32.7	30.0	41.7	37.8	34.0	3四 表現の工夫とその効果について、読み手からの助言を踏まえ、よい点や改善点を見いだすことができるかどうかをみる	38.4	45.9	45.0

【授業改善・学習指導】 《小6 算数》

「よく行った」回答の数値

質問事項（学校質問より）	児童が回答した数値			学校が回答した数値			調査問題	正答率（％）		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国		日田市	大分県	全国
算数の授業において、前年度までに、日常生活や社会における事象との関連を図った授業を行いましたか	46.8	47.7	47.5	47.1	40.6	27.9				
前年度までに、具体的な物を操作するなどの体験を伴う学習を通して、数量や図形について実感を伴った理解をする活動を行いましたか				64.7	53.6	37.9				
算数の授業において、前年度までに、授業で、学習上つまづいた児童に対する対応を行っていましたか				82.4	65.3	48.2				
5年生までに受けた授業では、図形や数直線など図が示された問題では、問題を解くときに図が役に立つと思いましたか	59.4	55.6	56.0							
前年度までに、問題の答えを求めさせるだけでなく、どのように考え、その答えになったのかなどについて、児童に筋道を立てて説明させるような授業を行いましたか	35.9	30.5	27.8	64.7	53.6	43.9	1（4） 日常生活の問題を解決するために、図形を構成する要素に着目して直方体の三つの辺の長さを捉え、示された条件を基に、調べたい数量の求め方を数や言葉を用いて記述できるかどうかをみる	35.7	44.5	45.2
							3（3） 異分母の分数の大小を判断し、その理由を数や言葉を用いて記述できるかどうかをみる	51.2	49.6	44.0
							4（1） 示された二つの表から、集計に誤りのある項目を見付け、その根拠を表の中の数と言葉を用いて記述できるかどうかをみる	59.7	61.8	56.2

【授業改善・学習指導】 《中３数学》

「よく行った」回答の数値

質問事項（学校質問より）	生徒が回答した数値			学校が回答した数値			調査問題	正答率（％）		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国		日田市	大分県	全国
数学の授業において、前年度までに、日常生活や社会における事象との関連を図った授業を行いましたか	24.5	28.8	25.5	41.7	38.7	24.3				
数学の授業において、前年度までに、観察や操作、実験等の活動を通して、数量や図形等の性質を見いだす活動を行いましたか				16.7	37.0	23.2				
数学の授業において、前年度までに、授業で、学習上つまずいた生徒に対する対応を行っていましたか				50.0	57.1	43.1				
数学の授業において、前年度までに、問題の答えを求めさせるだけではなく、どのように考え、その答えになったのかなどについて、生徒に筋道を立てて説明させるような授業を行いましたか	20.0	27.4	24.0	41.7	51.3	46.7	6（３）統合的・発展的に考え、事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる	38.3	42.3	44.6
							7（２）数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる	27.2	32.5	33.9
							8（２）筋道を立てて考え、証明することができるかどうかをみる	25.7	37.9	46.1
							9（３）データの傾向を的確に捉え、判断の理由を度数分布多角形の特徴を基に説明することができるかどうかをみる	27.4	33.4	31.9

質問事項（学校質問より）	生徒が回答した数値			学校が回答した数値			調査問題	正答率（％）		
	日田市	大分県	全国	日田市	大分県	全国		日田市	大分県	全国
英語の授業において、前年度までに、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動を行いましたか	32.9	45.4	42.3	8.3	31.1	25.5				
英語の授業において、前年度までに、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動を行いましたか	33.1	41.2	37.6	16.7	20.2	20.7				
英語の授業において、前年度までに、キーボード（画面上に表示されるキーボードやフリック入力も含む）を使って英語を書く活動を行いましたか	15.5	21.4	17.0	8.3	32.8	21.6				
英語の授業において、前年度までに、英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点を捉える活動を行いましたか				33.3	48.7	46.7	10（１）（２）社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる	32.6	44.9	47.5
								13.6	23.5	27.8
英語の授業において、前年度までに、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動を行いましたか				16.7	36.1	34.7				
家庭学習の課題（宿題）として、生徒に PC・タブレットなどの ICT 機器を使用して、英語の学習をどの程度行わせていますか 【ほぼ毎日+週３回程度+週１回程度】	22.2	28.5	24.5	91.7	45.3	38.6				

(2) 分析結果

【小学校】

- ・「学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができるか」については全国値を大きく上回っている。
- ・「前年度までに、家庭学習について、児童が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行ったか」については、全国値を大きく上回った。昨年度より大幅に上昇している。
- ・「生徒指導に関すること」の調査から、全国値を4ポイント上回り、児童は落ち着いて授業を受けていることがわかる。
- ・教科ごとの「授業改善・学習指導」では、学校質問事項と児童質問事項の数値に乖離がある問題が数問ある。

【中学校】

- ・「学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができるか」については、全国値より6ポイント下回った。
- ・「生徒指導に関すること」の調査から、全国値を7ポイント下回り、昨年度と比較すると隔たりは小さくなっているものの、学習環境が整っていない状況がうかがえる。
- ・「授業改善・学習指導」では、学校質問事項と生徒質問事項の数値に乖離があることが分かる。加えて、関連のある調査問題の正答率とも隔たりがあることが分かる。授業者と生徒の授業に対する捉え方に違いがみられる。

【小・中共通】

- 「家庭や地域との連携」に関連する項目については高い水準を維持しており、学校運営協議会等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まっている。

(3) 改善の方策

- ◇学力調査問題を、「児童生徒が苦手としている内容を授業で意識して実践してほしい」という文科省からのメッセージ、「理解できていないところがある」という児童生徒からのメッセージであるととらえ、調査問題や課題を意識した日々の授業実践を行う。
- ◇学校質問調査と児童生徒質問調査の乖離がみられる指導に対しては、単元計画やめあてを児童生徒と共有し、ゴールや目的を明確に持たせた授業を行う。
- ◇近年増加傾向にある経験年数の浅い教員の育成のためにも全校または学年部において学級経営や学習規律等の共通理解を図り、児童生徒の学びに向かう環境を整える
- ◇指導教諭等による授業公開など、積極的に学ぶ機会に参加し、自己研鑽を図る。
- ◇8月19日センター研修にて作成の、授業アイデア例を活用した単元計画を使い、全国学力調査から見てきた課題に対応した授業をすべての学校で実践していく。

7 今後の取組について

【各学校で必ず取り組むこと】

① 1 時間・内容のまとまりごとに付けたい力を明確にした授業実践

- ・ 単元構想により毎時間教師が付けたい力をもって授業に臨む

② 「本時で付けたい力」の定着状況の、授業終末段階における確実な把握 (重点)

- ・ まとめを自分で書かせる
- ・ 練習問題やミニテストの確実な実施
- ・ 「振り返り」による理解度の確認

③ 授業時間外における全教職員体制による個別・補充学習の実施

- ・ 授業時間外の個別・補充学習を行う時間は、教科を越えて複数体制で実施
(小学校は専科教員も)
- ・ 伸ばす教育…「一人ひとりがあと 1 問解ける」
「一人でも『わかった』『できた』を増やす」

【市教委が取り組むこと】

① 知識・技能の向上に向けた市全体の取組（全学年で取り組む）

- ・ AI ドリルを活用した市統一ドリルの配信による定期的な定着状況の把握
- ・ 市全体の定着状況の把握を行い、補充問題を再配信。
※小学校 1，2 年生は紙媒体で市統一のドリルを行う。

② 教職員研修の充実

- ・ 夏季休業中の実践的な研修（2 学期からの授業づくり）
- ・ 指導教諭や専科教員の授業公開
- ・ 日田市指定「自立した学習者」公開研究発表、学校間で設定する柔軟な授業公開

③ 伴走支援

- ・ 学校訪問や学習教材作成の支援
(知識技能の定着状況を踏まえた支援、学校の要請に応じた研修支援)
- ・ 授業づくりの相談